
平戸 白旗神社

下永谷へ入る「国道平戸」の信号前にあるのが、平戸の鎮守様「白旗神社」である。

実を言うと地元では頭に平戸をつけ「平戸 白旗神社」といつている。

何故かというと同名の神社がとなりの品濃町にもありややこしいのでいつしか、「平戸 白旗神社」「品濃 白旗神社」と呼ぶようになったものである。

また、神社名が同じということはなんらかの関係が潜んでいるということである。

その関係とは祭神のことで平戸 白旗神社の祭神が源頼朝で、一方品濃 白旗神社の祭神が頼朝の弟源義経であるということである。

したがって、この2社は兄弟神社ということになる。

ただし社歴としては兄頼朝の平戸 白旗神社が乾元元年（1302年）の創建で弟義経の品濃 白旗神社は康元元年（1256年）創建と伝えられ兄貴分の平戸 白旗神社より弟分の品濃 白旗神社の方が約50年古い創建となっている。

その理由は定かでないがことによると頼朝・義経の祭神説は後年の作

り話がいつの間にか本当の話のように伝わっているのかもしれない。

しかしながら平戸 白旗神社縁起には明和6年に鶴岡八幡宮別当相承院より頼朝の遺髪を受け神体にしたという話があるから頼朝祭神説には一応の説得性があるといえよう。